

平成26年11月17日

**総合事業への早期移行に向けたゼミナール**

**「ボランティア主体の地域ケア」**

川崎市宮前区野川

「すずの会」

# すずの会 設立のきっかけ

設立

平成7年9月

設立メンバー

小学校のPTA仲間5名

- ・ PTA仲間の一言「介護経験を地域で活かそう」
- ・ 「ちょっと困った時、気軽に鈴を鳴らしてください」
- ・ 制度の手の届かない問題の解決策を活動に
- ・ 自分たちの老後も考えたグループ作り
- ・ 当事者の困りごとを生活者の視点で解決する
- ・ 身近なつづやきを実践に生かす
- ・ 身の丈に合った実践の積み重ね

平成26年4月現在

活動メンバー65名

# 宮前区野川地区の現状(中学校区)

(平成25年3月末日)

面積	2.67km <sup>2</sup>		
世帯数	11,775		
人口	28,346	男 14,279	女 14,067
高齢化率	20.46%		
65歳以上	5,801	男 2,564	女 3,237
前期高齢者	3,390	男 1,594	女 1,796
後期高齢者	2,411	男 970	女 1,441

75歳以上一人暮らし世帯	615	75歳以上夫婦世帯	295	計1205名
--------------	-----	-----------	-----	--------

要支援1	129	要介護1	191	要介護4	117
要支援2	108	要介護2	186	要介護5	83
合計	237名	要介護3	106	合計	683名

# やってみましょうよ

- 身近な人との出会いから、発見・気づき・見守り・掘り起こし・つなげる
- 地域の実情に合わせて、何があって、何が足りないのか、地域を歩き独自の工夫を探る
- この人の問題を解決するために、私たちができることを考え、活動を生み出す
- 地域住民が主体となり、行政・組織など様々なネットワークとつながり、即実行

# 高齢化の進む団地

●独身 ●心配 ●要支援 ●世話役 ★ラッキー

	1号室	2号室	3号室	4号室	5号室	6号室	7号室	8号室
4階	●	● 70代	● 70代	● 70代	★ ●● 女、子2人	●●●	● 69才男	●●
3階	●	●●● 80代女	★ ●	● 60代	● 65才	●●●	● 男	★ ●● 60代女
2階	●●●	●● 男	空	● 60代	● 60代	空	●● 40代女	●● 83才女
1階	★ ● 77才女	●●●●	●●●●	空	●●●●	●●● 60代女	●	● 80代女

空室2

独居18

# 活動 内容

## 制度に馴染まない活動を生み出す

- 集いの場
  - ミニデイ(月2回開催 延べ参加者 年約1900名)
  - ご近所サークル「ダイヤモンドクラブ」(28か所)
- 空家活用「すずの家」 2014年4月オープン
- 地域ネットワーク「野川セブン」(26団体)
- 介護者サポート(スポットヘルプ・介護相談・コーディネート)
- 情報提供(介護情報誌『タッチ』発行)
- 公園体操(6か所 延べ参加者 年約5800名)
- 特養内地域開放型 「喫茶マロニエ」(毎月1回)
- 地域マップ(年15回)

# 地域ネットワーク・野川セブン

- 地域ネットワーク会議      2001年1月より
  - 毎月1回定例会議
  - すずの会がまとめ役
- 自主活動団体・民生委員・地区社協・自治会・地域包括・行政・施設・ケアマネなど26団体が参加
- 地域包括支援センターの運営会議もかねる
  - チームケアに必要な医療・介護連携と地域人材を活かした個別ネットワークを工夫する
  - 地域で心配なことを、皆で考え 解決の糸口を探る
  - 得意を活かす 無理しない

# 私のための楽しみ場「ミニデイ」

場所 野川いこいの家

毎月 第2水曜・第4火曜 10:00～15:00

- ・要介護者の参加(平均介護度2.5)
- ・家族も一緒に参加 ファミリーサポート
- ・情報交換・一人ひとりの状況把握
- ・日常のつながり、顔なじみに発展
- ・参加費 500円
- ・ボランティアの生きがいの場
- ・施設からも参加

# 気軽なお付き合い・さりげなく 見守る 制度につながらない気になる人が急増



毎回70名以上が参加  
ボランティアとの区別は個性豊かなエプロン



おしゃれを楽しむ毎月1回  
美容師のボランティア参加

# 男の出番 役割を持つ



奇数月は男性が料理担当 腕前が活かされる  
男性の地域参加 なじみの関係作り

# ご近所サークル 「ダイヤモンドクラブ」

- ちょっと気になる人を仲間に
- ご近所単位 5名以上の集いの場
- 有志が自宅を開放
- 緩やかな関係作り
- 悩みもさりげなく
- 助け合いのできるご近所
- 当事者の自宅を開放
- 開催は年3回以上自由に 決まり事は少なく
- 会費100円 会場費 1回2000円上限10000円

# 都市部でヒット「ダイヤモンドクラブ」 緩やかな繋がり

【平成25年度】

・個人宅 28カ所

137回 1918名

・集会場、商店の店先など居場所 4カ所

定期的に開催



# さりげなく見守るご近所 少しの気配りが安心



# 2014年4月オープン 「すずの家」



**「すずの会」設立19年目の大挑戦！家賃10万円の捻出**

# 「すずの家」 本音が出せる居場所

毎週 水曜土曜開催  
料金 ケアサービス  
1000円  
食事  
500円  
送迎  
500円  
入浴  
見守り 500円  
一般利用ランチ  
650円



2014年6月～8月  
川崎市介護予防推進  
モデル事業受託  
要支援対象の地域支援

# 笑いがある 安心がある 役割がある



おしゃべりは3日ぶり  
きどらない お付き合い



ここは私のセカンドハウス

# 川崎市介護予防事業推進体制 モデル事業

## 実施業務

- (1) 実施回数 概ね週2回とし1ヶ月8回までの利用上限
- (2) 実施時間 1回につき2時間程度
- (3) 実施場所 受託者が提供する場所
- (4) 対象者 市内在住の65歳以上の要支援高齢者・要支援者
- (5) 対象者数 上限10名まで
- (6) 費用の徴収 受託者は事業参加者からいかなる費用も徴収してはならない
- (7) プログラム内容
  - ・入浴 ・体操 ・川崎体操の普及 ・介護予防に関する講話

# 川崎市介護予防事業推進体制構築 モデル事業

- 送迎 15分以上続けて歩けない・自宅から15分以内にバス停、駅が無い・単独での参加に不安があり、かつ家族の協力が得られない方を対象
- 人員配置 事業従事職員2名以上  
緊急時に対応できる職員体制の確保
- 委託代金
  - (1) 対象者1名につき1回 2150円
  - (2) 送迎代金 対象者1名につき 1回 650円
  - (3) 運営費用 本事業実施機関につき50000円

# 川崎市介護予防事業推進体制構築 モデル事業

平成26年6月4日～8月30日、実施回数 23回

参加人数	要支援 2	4人
	要支援 1	2人
	二次対象	4人
合計		10人
中断者	0人	
送迎人数	8人	
送迎実施人数	120回	
入浴人数	5人	

※二次対象者： 鬱病・2名、軽度認知症・1名、膝関節症術後・1名

# 従事者 及び 地域連携

従事者延べ人数 213名

\* ボランティア有資格:

看護師、社会福祉士、介護福祉士、ホームヘルパー2級・1級、  
運動指導士、食品衛生管理師、整体施術士、会話パートナー、  
食生活改善推進委員

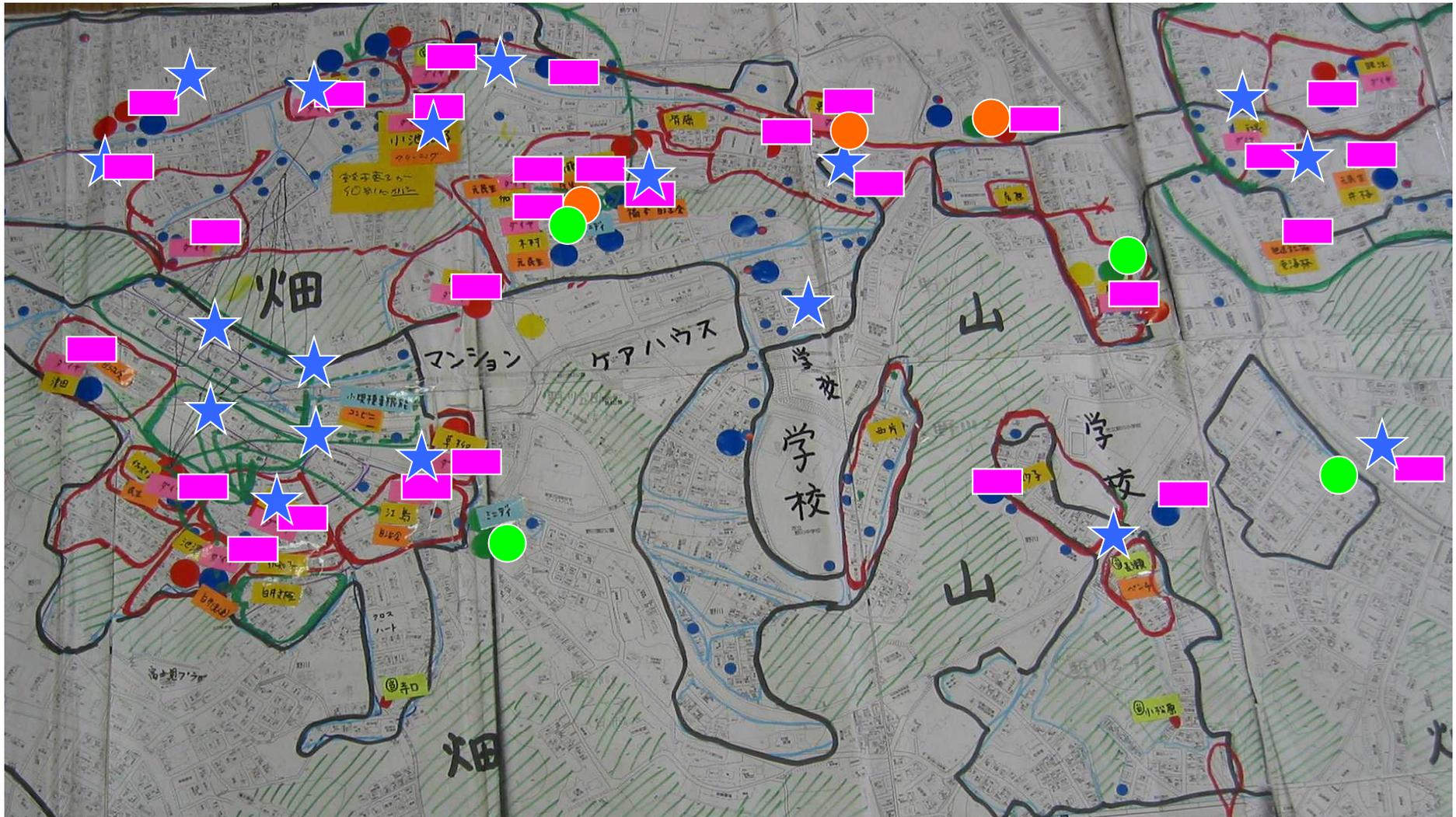
手芸講師、運転

地域連携

宮前区役所、地域包括支援センター、  
社会福祉法人(高齢者施設)、医師2名  
自治会、民政委員、地区社協、ケアマネジャー、  
農家、工務店、電気工事店

# モデル事業の効果

- ・生活にリズムが出来た
- ・顔なじみが増えた
- ・体重が増えた
- ・鬱の薬が7錠から3錠に減った
- ・食事作りを始めた
- ・趣味を始めた
- ・ダンス・体操に通い始めた
- ・役割が出来た
- ・歩いて参加できるようになった
- ・ボランティアをしてみたい



- …ダイヤモンドクラブ
- …公園体操
- …ミニデイ
- ★ …世話焼き



すずの家 川崎市モデル事業 集計表 2014年6～8月

	6月	7月	8月	6～8月 合計
開催日数	7日	8日	8日	23日
総介護人数	83人	95人	100人	278人
1日平均人数	11.9人	11.9人	12.5人	12.1人
1日最多人数	14人	13人	14人	14人
1日最少人数	9人	10人	9人	9人
うちモデル事業対象者数	50人	62人	58人	170人
1日平均人数	7.1人	7.8人	7.3人	7.4人
1日最多人数	10人	9人	9人	10人
1日最少人数	4人	7人	4人	4人
総送迎人数	48人	64人	72人	184人
うちモデル事業送迎人数	27人	47人	46人	120人
1日平均人数	3.9人	5.9人	5.8人	5.2人
1日最多人数	6人	7人	7人	7人
1日最少人数	1人	5人	4人	1人
介護ボランティア人数	56(+13)人	64(+6)人	64(+10)人	184(+29)人
1日平均人数	8人	8人	8人	8人
送迎ボランティア人数	12人	16人	16人	44人
1日平均人数	1.7人	2人	2人	1.9人
⑨ 介護ボランティア人数の( )内は、ちょこボラ(ちょこっとボランティア)の人数。				
事業収入	281,800円	250,950円	271,150円	803,900円
うちモデル事業	【A】 175,050円	163,850円	154,600円	493,500円
介護実施料(人数×2,150円)	107,500円	133,300円	124,700円	365,500円
送迎代(人数×650円)	17,550円	30,550円	29,900円	78,000円
運営費用(委託契約金)	50,000円	0円	0円	50,000円
支出の部	【B】 185,066円	533,446円	228,444円	946,956円
【B】-家賃、備品・修繕費(=変動費)【C】	83,076円	116,485円	102,794円	302,355円
【C】×0.612(=モデル事業変動費)【D】	50,843円	71,289円	62,910円	185,042円
⑩ 0.612=170/278				
モデル事業変動費【D】+家賃	【E】 150,843円	171,289円	162,910円	485,042円
モデル事業利益【A-E】	24,207円	-7,439円	-8,310円	8,458円
↑ 家賃を含み、初期投資・人件費を含まず				
◆初期投資(4～8月備品+修繕費)				798,506円
◆ボランティアの有償化 4,000円/日×8人×23日=736,000円				736,000円
⑩ 4,000円/8時間=500円/時				
時給500円は、神奈川県最低賃金868円の57.6%				

■送迎ボランティアへの送迎代は、モデル事業対象者1人当たり650円の予算に対し、ガソリン代の高騰や事故リスクへの対応等から、1,000円を支払っている。  
差額分350円は、すずの会からの支出でまかなう。